



# D E S I G N

～ 距離を保ちましょう～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

Design号外66号です。第5回オンライン症例報告会のご報告、令和3年11月の問い合わせ件数などを掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

## 第5回オンライン症例報告会を開催しました。

～ 多数のご参加ありがとうございました～

12月2日（木）に開催しました「第5回オンライン症例報告会」には、ご多忙にも関わらず多数ご参加下さり、ありがとうございます。オンラインでの参加は38名、院内の職員の参加は33名でした（院内の職員は会議室で視聴しています）。今回は番外編として、地域の専門職を対象に、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）をテーマに開催しました。タイトルは、「ACPを考える～多死社会に向けて、在宅と病院ができること～」です。

在宅側は、「在宅医からみたACP～住民への普及の現状～」と題して相楽医師会の山口泰司会長が講演して下さいました。病院側は、「総合病院でのACP～多様な看取りを見据えて～」と題して当院田辺利朗先生（消化器内科副部長）が講演させて頂きました。



山口先生の講演では、意思決定支援の歴史からACPの必要性、相楽医師会での活動や実際の事例など、多岐にわたる内容でした。スライドでは、実際に患者さんが直筆で書かれた生前指示書を見せて下さったのですが、日々の在宅での診療の一部として、日頃から患者さんに意思の確認をされていることがよくわかりました。田辺先生の講演では、人生の最期に至る軌跡を、①突然死 ②心不全・呼吸不全 ③がん ④認知症・神経難病に分け、それぞれ事例を交えて具体的に説明して下さいました。疾患による経過の違いを整理することができ、今後の患者さんの支援に役立つのではないかと考えています。



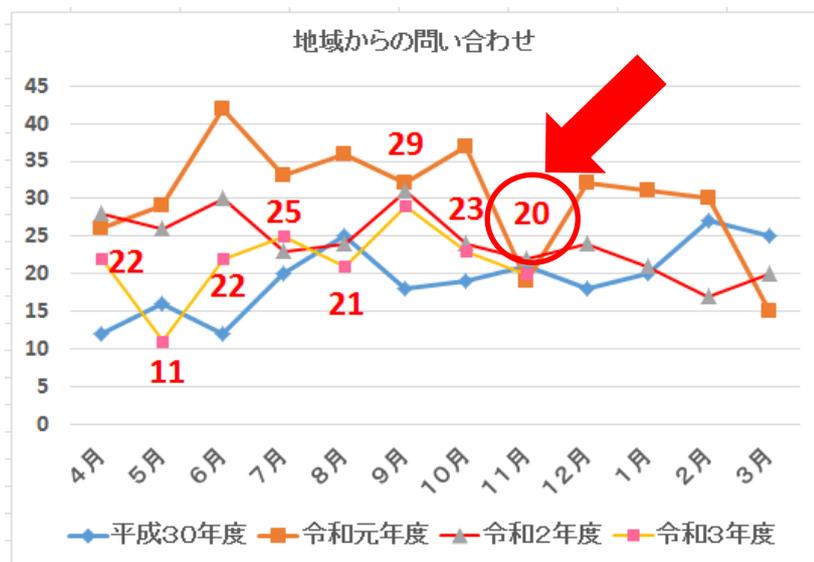
講演後の質疑応答では、事前に頂戴していた質問について山口先生、田辺先生にお答え頂き、また、オンライン参加の藤本和子先生（相楽薬剤師会会長）、伊左治友子先生（伊左治医院院長）にもご発言頂きました。本当は、オンラインで参加されている方々とも意見交換をしながら、ACPについての理解を深めることができたのであればよかったのですが、司会（私）の不幸で時間が足りなくなり、申し訳ありませんでした。

患者さん（利用者さん）にとってACPの話をお聴くことが“縁起でもない”から、誰もが当たり前のこととして“私は〇〇したいと思っています”となるよう、土壌作りの必要性を感じたところです。今回の研修会についてのご意見、ご感想などがありましたら、地域医療連携室までお寄せ下さい（ti0001@yamashiro-hp.jp）。また、今年度中に在宅医療をテーマとした研修会を開催する予定をしています。改めてご案内させて頂きます。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

## 令和3年11月に問い合わせ件数について

～ いつもありがとうございます ～

令和3年11月は、20件のお問い合わせを頂戴しました。ありがとうございます。引き続き、迅速に対応してまいりますので、よろしくお願いいたします。



## 認定看護師セミナーのお知らせ (Web)

以下の日程で、認定看護師による研修会を開催する予定です。詳細は決まり次第、お知らせします。

\*

日 時：令和4年2月20日（日）午前9時30分～12時30分

内 容：感染管理認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、認知症看護認定看護師による講演

開催形式：Webによる開催（ご希望の方は、当院9階会議室での聴講して頂けます。）

問い合わせ：大植（感染対策室）又は、南出・坪井（地域医療連携室）

## 看護師による飾り付け

～ 患者さんの心に保養に ～



当院1階には、地域の皆様がサークル活動などで製作された作品を展示して頂けるスペースがあるのですが、コロナによる感染拡大防止のため、昨年度より展示を控えて頂いています。少しでも患者さんの心の保養になればという思いから、殺風景となっているこのスペースに、看護師の有志が季節に合わせた飾り付けをしてくれています。

今回はクリスマスバージョンです。大きなリースは、実際に山へ行き、蔦を丸めて作ったとのこと。写真ではわかりにくいと思うのですが、松ぼっくりで作ったクリスマスツリーも飾られていて、かなりの力作です。食い入るように眺めておられた小さなお子さんもおられました。

クリスマスが終わったら、お正月バージョンでしょうか！？（南出）